

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難の方法、手順、分担等を全職員が把握できていない。日中想定の実業所内での訓練しかできていない。	近隣住民・自治会等の協力を得ながら総合防災訓練を実施する。 職員間で夜間想定避難要領について確認する。	運営推進協議会を通じて自治会等へ協力依頼するとともに、近隣住民の方にも訓練への参加、緊急時の協力を要請する。 生活時間に即した(日中・早朝・夜間・深夜)避難マニュアルを作成する。	6か月
2	49	外出などの機会が少なく、通院以外で外出を楽しむ機会が少ない。	日常生活を送る上で散歩・外出の機会を設けられるよう工夫する。	日常の買い物等への入居者の同行、近隣の商店の利用、散歩や畑作業への誘いかけ、ドライブ・外食の企画など、ユニット毎に臨機応変に対応していく。 必要に応じて社協等へボランティアの依頼を行う。	6か月
3	26	介護計画は計画作成担当者が中心に作成しているが、実際介護を担当しているスタッフ・医療関係者・ご家族からの意見も十分に反映させたい。	計画作成担当・介護スタッフ・ご家族・関係機関とが連携して、利用者様にとって安心できる介護計画を作成する。	ユニット毎の会議などでの情報交換、訪問看護師や主治医との情報共有をより深めていく。 ご家族への情報提供や計画説明を随時、丁寧に行い意見をいただく。 モニタリング・アセスメントの手法についても介護スタッフと研修等で共有していき、計画に反映できるよう取り組んでいく。	1年
4	13	職場内外での研修の機会が、業務の都合もあリなかなか持っていない。	業務内容に見合う研修の機会を(施設外・施設内ともに)積極的に設け、研鑽を深められるようにする。	施設外研修については、なるべく多くのスタッフが参加できるようシフト等を配慮する。 職場内研修では、業務上の課題・疑問点を明らかにし、解決に向かえるような内容のものを取り入れていく。	1年

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。